

2010年9月12日

「原子力政策円卓会議2010」世話人 (50音順)

飯田哲也 (環境エネルギー政策研究所)

澤田哲生 (東京工業大学)

長崎晋也 (東京大学)

吉岡 斉 (九州大学)

『原子力政策円卓会議2010』:原子力政策に関する提言を公表

この度、「原子力政策円卓会議2010」は、原子力政策についての提言を公表し、併せて記者会見を行いますのでご案内いたします。

政権交代で民主党を中心とする新政権が発足し、環境エネルギー政策が大きく転換しようとしています。しかし、原子力政策は温暖化政策やエネルギー安全保障に大きくかかわるにもかかわらず、今のところ、新政権では、見直しの方向も論点もそのための体制なども目立った動きは見られません。

私たちは、「原子力政策円卓会議2010」を組織し、原子力政策に関して、推進・消極・否定の立場を超え、事実と論理と合理に基づいた議論をめざし、2010年8月末までに計5回の会合を開いてきました。

現行の「原子力政策大綱」策定から5年が経過し、現在、原子力委員会は同大綱の「見直しの必要性」の検討に着手しています。私たちは、この時機に合わせ、円卓会議の成果を「原子力政策に関する提言」の形で取りまとめ、公表いたします。

なお、この提言は、9月18日(土)に、原子力委員会の、「『原子力政策大綱(平成17年10月策定)』の見直しの必要性についてご意見を聴く会in東京」でも公表予定です。

◆記者会見開催要項

【日時】9月16日(木) 14時～15時(予定、質疑応答含む)

【場所】衆議院第一議員会館 第6会議室

【会見者】澤田哲生(東京工業大学助教、原子炉工学)

吉岡斉(九州大学副学長、科学技術史・科学技術政策)

◆ 「原子力政策円卓会議2010」とは

原子力政策に関して、推進・消極・否定の立場を超え、事実と論理と合理に基づいた議論を目指し、原子力政策が直面している課題や政策アジェンダを幅広い立場から洗い出すことを目的とする。参加者は約 30 名で、原則として「今後、10 年程度にわたって原子力政策に責任をもって関与しうる当事者」が「個人の立場で参加する」ものとした。最終的に合意された文書以外は、中での議論や発言などは口外・引用しない「チャタムハウスルール」で行い、会議は非公開とした。

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

『原子力政策円卓会議 2010』事務局

担当：田中信一郎、氏家英由子

環境エネルギー政策研究所（ISEP）

E-mail: info01@isep.or.jp

TEL: 03-5318-3331